

## 地对協コーナー

いよいよ2019年度が始まりました。あと半月で新しい元号を迎えることとなります。

今年度は、第7次広島県保健医療計画の2年目を迎えます。地对協としても、不断の見直しを行いながら、これらの計画の実現に向けて関係者の総力を結集して取り組みたいと思いますので、引き続き格別のご指導・ご協力をお願いします。

さて、今号は2月に開催された委員会の報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地对協ホームページ (<http://www.citaikyo.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○平成30年度圏域地对協研修会

日時：平成31年2月3日(日) 13時00分  
場所：くれ絆ホール

広島県呉地域保健対策協議会(会長：玉木正治呉市医師会長)の担当により、「生活習慣病の発症予防・重症化予防について～健康寿命が延びる社会に向けて～」をテーマに開催した。

当日は「広島発・広島初の糖尿病研究と医療連携体制の構築を目指して」と題して、広島大学大学院医歯薬保健学研究科糖尿病・生活習慣病予防医学教授の米田真康先生による特別講演と、「生活習慣病の発症予防・重症化予防と地域連携について」をテーマとしたシンポジウムを行った。

詳細については、広島県医師会速報第2400号(3月5日号)付録にて報告済のため割愛させていただきます。

### ○救急医療体制検討特別委員会

日時：平成31年2月6日(水) 19時30分  
場所：広島県医師会館3階 301会議室  
委員長：志馬 伸朗

第7次広島県保健医療計画「救急医療対策」の進捗状況ならびに今後の取組方針を確認した。また、福山方式救急病名登録システムとEMITAS-Gから分析する救急搬送におけるアウトカム評価の試行状況が報告されたほか、平成33年1月より運用開始を予定する次期広島県救急医療情報システムの構築に向け、現行の応需情報入力状況や今後の行程案を共有した。

#### 報告・協議事項

- (1) 第7次広島県保健医療計画「救急医療対策」の進捗状況について  
保健医療計画中の救急医療対策として、適切

な病院前救護活動が可能な体制づくり、救急医療機関への円滑な搬送と医療機関における受入体制の確保、重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制づくり、救急医療機関から療養の場へ円滑な移行が可能な体制づくりなどそれぞれの項目について進捗状況ならびに今後の取組方針案の報告があった。

委員からは、県としての医療連携ネットワークシステム整備にあたり、地域既存のネットワークとの相乗りが可能となる対応を求める意見があった。

- (2) 救急搬送におけるアウトカム評価について～福山方式救急病名登録システムと広島県医療・介護・保健情報総合分析システム(EMITAS-G)とを突合させた分析の試行について～

現在、国の動きとして、消防・医療機関の各種データベースの活用や連携に関する方策を検討すること、データ収集と分析を駆使して更なるアウトカム評価の検討を進めることなどが議論されている。今年度、救急搬送データと医療・介護データを接続することで、救護から救命後医療(予後)までのアウトカムを把握できる情報を分析・検討することについて福山市医師会より事業提案があったことを踏まえ、広島県より分析試行結果が報告された。

今回の試行で利用可能であったデータは約40%であった点や、実施した治療は把握できるもののADLの評価は把握できない点、利用しているサービスや介護度は把握できるが、介護レセプトのない月(サービス利用がない月)の介護度は把握できず、認定なしとして抽出される点が報告された。

今後、引き続き広島県において分析試行を行い、アウトカム評価の検討を行うこととした。

- (3) 救急搬送支援システムの今後の運用について  
広島県救急医療情報システムは、「救急搬送支

援システム」を搭載しており、救急隊・医療機関相互が傷病者情報や救急搬送受入情報などを入力することで、搬送先医療機関の検索や一斉受入要請を行うことができる。

同システムのリース期間は平成31年9月までを予定していたが、システム見直しに向けて十分な検討を行うため、現行システムの耐用年数や費用対効果などを勘案して平成33年12月までリース期間を27ヵ月延長することとしている。今後システム見直しの検討を行うにあたり、現在の応需情報入力状況や、他県における同様のシステムの概要、行程案などについて広島県医療介護計画課より説明があった。

#### ○第1回精神疾患専門委員会

日 時：平成31年2月7日(木) 18時30分  
場 所：広島県医師会館4階 401会議室  
委員長：山脇 成人

昨年度、本委員会で協議した第7次保健医療計画（精神疾患対策）の現状について情報共有した。また、次年度に向け本委員会の活動内容やWGの設置、WG長の選定などについて意見交換を行った。

#### 報告・協議事項

##### (1) 平成30～平成31年度の事業計画について

第7次保健医療計画（精神疾患対策）については、平成29年度に現状把握のため、各医療機関の医療機能の調査を行い精神疾患などの県連携拠点、地域連携拠点を設置したところである。平成32年度の見直しに向けて各医療機関の医療・教育機能・ネットワーク構築などの調査を再度行い、県連携拠点機能、地域連携拠点機能の明確化を図り、各疾患に合うよう具体的に項目を記載することとした。

##### (2) 対応が不足する医療機能（児童・思春期、摂食障害・PTSDなど）の検討体制について

対応できる医療機関が不足する可能性が高い疾患の医療機能体制の整備が今後の課題として考えられるため、精神疾患のうちすでに会議などで検討の場が設置されている疾患以外の「児童・思春期」「摂食障害、PTSD」のWGを2つ設置し検討することとした。

WG長については、「摂食障害、PTSD」は岡田剛先生（広島大学）をお願いすることとなった。また、「児童・思春期」については県連携拠点とされている松田病院の松田文雄先生をお願いすることとしたが、検討内容が重なる発達障害については地対協発達障害医療支援体制検討特別

委員会で検討がされているといったことから、県と松田先生で調整することとなった。

##### (3) 来年度の検討に向けた課題共有と方針決定について

来年度は委員会内でうつ・自殺、統合失調症の医療・教育機能、ネットワークについて課題を検討し、医療機能調査に向けた調査票の検討を行うこととした。調査は平成32年度に実施。また、第7次保健医療計画で設置した県連携拠点機能、地域連携拠点機能の役割について違いが見られないといった点や、1つの疾患に対しての県連携拠点病院数についての意見が挙がった。改めて県連携拠点機能、地域連携拠点機能について見直しを行うこととなった。

本委員会については次年度も継続することとし、第1回会議を6月頃、各WGについては7月頃の開催予定。

#### ○第1回放射線治療連携推進WG

日 時：平成31年2月13日(水) 19時00分  
場 所：広島県医師会館3階 303会議室  
WG長：永田 靖

12月に実施した放射線治療に関する実態調査の結果を踏まえ、今後の運営や人材の育成の方策について意見交換を行った。

#### 報告・協議事項

##### (1) 放射線治療体制のあり方検討にかかる実態調査について

広島県がん対策課より12月に調査を行った課題の調査について集計結果の報告があった。昨年、増加が見られた乳腺、泌尿器系については、引き続き増加が見られた。肺、気管、縦隔については微減の傾向が続いており、脳転移、骨転移についてはほぼ横ばいの状態であった。骨転移については広島圏域で減少していたが、原因については不明であった。

人員については医学物理士、看護師に増加が見られたほか、治療専任度が向上していることがわかった。人員の充足状況についてはJASTRO（日本放射線腫瘍学会）の示す基準に照らし合わせると理想的な充足率であると補足があった。

##### (2) 広島がん高精度放射線治療センターについて

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）の治療実績および、特徴的な治療法、患者満足度調査の結果の報告があった。満足度調査については前年の調査より良い評価であった。また、HIPRACで行う意義の高い疾患の例

を紹介し、当該疾患例については、治療方針や治療技術の変化などに対応して随時改訂されている。

### (3) 広島県内の放射線治療に係る技術支援について

HIPRACが実施する県内の放射線治療に係る技術の均てん化と水準向上のための技術支援ワーキングについて今年度の活動報告があった。品質保証に関する技術的支援については県内外の施設を対象に出力線量管理調査を実施し、不均質補正管理調査については4月以降に対象施設を拡大し調査を行うことが紹介された。

### (4) 広島県内の放射線治療に係る人材育成について

県内の放射線治療に携わる人材育成について、平成30年度の実績報告があった。HIPRACでの研修受け入れは171名、HIPRAC主催のセミナーへの参加は236名であった。その他、HIPRACのスタッフについても学会などへ積極的に参加していることが紹介された。

#### その他

昨年の豪雨災害時の影響などについて意見交換を行った。出席の委員からは、病院までのアクセスが遮断されたことや、リニアック稼働のための冷却水が大量に必要となるため、断水時に対応できなかった事例などが報告された。

#### ○第2回予防接種WG

日時：平成31年2月21日(木) 19時30分  
場所：広島県医師会館5階 501会議室  
WG長：渡邊 弘司

次年度の広島県定期予防接種接種率調査の実

施に向け、調査内容などについて協議した。

平成31年度は、MRとDT(2期)ワクチンの接種率および各市町の勧奨方法、市町のデータ管理状況について調査することとした。

#### 報告・協議事項

#### (1) 次年度の広島県定期予防接種接種率調査について

本WGでは、定期予防接種率の算定方法が市町間で統一されていない現状を鑑み、平成27年度に県内統一の算定式を作成し、平成28年度から市町別の接種率や接種勧奨方法などを調査している。今年度は、初年度調査から2年経ち、改めて小児定期接種の全対象ワクチンについて接種率調査を行った。これまでの調査結果を踏まえ、平成31年度の広島県定期予防接種市町別接種率調査の実施に向け、調査項目などについて協議した。

各委員からの意見を踏まえ、次年度はMR、DT(2期)ワクチンの接種率および接種勧奨方法について調査を実施することとした。あわせて、各市町における予防接種データの管理方法について最新の状況を確認することとした。

#### (2) その他

県外での定期予防接種における市町の補助状況に関する調査結果について、出席の委員より情報提供があった。県内では現在、償還払いなどの補助制度のない市町が3市町あることから、2月28日(木)開催の市郡地区医師会感染症担当理事連絡協議会で報告し、地区医師会を通して市町へ働きかけていただくよう呼びかけることとした。

## 県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

#### 【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.5」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- C型肝炎「わたしの手帳」 など

#### 【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつづが虫病と日本紅斑熱について
- 海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱、チクングニア熱、マリア)
- 麻しんと風しん 大人も注意!
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生とともに…」

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索

